

座談会の様子

さまざまな意見や思いが飛び交い、お互いの考えを分かり合う良い機会となりました。



あなたの相棒 座談会

座談会 第1部

「あなたの相棒」を振り返る



今回の「あなたの相棒」取材先は、大阪府立生野高等学校写真部。つまり私たち自身！自分たちで自分たちを取材するというのもおかしな話ですが、座談会形式でこの2年間を振り返り、取材の思い出を部員に語ってもらいました。語り手は、杉浦、室山、廣井、岡本、阪倉、吉田、野口、そして顧問の吉田先生です。

先生

1年生は、入部まもなくで、戸惑ったかもしれへんけど、行ってみてどうやった？

杉浦

実は入学前から「あなたの相棒」のことは知ってて（松原市民なので）、もし生野に入部して写真部に入ったら自分も取材に行くんやろなと思ってたんです（まさか本場にそうなるとは…）。実際にやってみると、スゴク緊張しましたが、楽しかったです。

室山

私は他市から来てるので、入部してからこの活動のことを知ったんですが、取材

吉田

私は、化粧筆の「村岸産業」と「竹内海苔」。どっちも女性が発売されてて、皆で力を合わせてやってるのがスゴイと思いました。

阪倉

私は、喫茶「Jee Jee」と沖縄料理「そんちゃん家」。たまたま？どっちも飲食店。コミュニケーションとるのは、とても苦手なんですけど、おいしいもの食べさせてもらって、話を聞いて、とやってみるうちに楽しくなりました。

先生

取材先が「食べ物」関係の場所やと、いつも立候補が多いからなあ。高校生の興味は胃袋と直結してる感じもあるねえ。（笑）それから私も松原市民やけど、この取材活動を通じて、実はこんなに隠れた名人がいてはるということにちょっと感動した。ただ、惜しいことに、宣伝が控えめというか、あまり自己主張しない人が多い。ゆるキャラの「まっばらくん」が、「松原に有名なものって何かある？」と聞かれて「ないよ」と答えるくんだり私は好きで、自虐ネタなんやけど、何だかちょっと奥ゆかしい。最後に3年はどう？

先生

いきなり1年で記事を書くのは大変だったやろね。なかなか上手く書いてて感心したで。2年生はどう？

廣井

私は、子どもたちに体操を教える「シロマススポーツクラブ」に行きました。自分が体操とは無縁なので、知らないことだらけだったんですが、オリンピックで活躍する選手を育てた人が松原市にいることに驚きました。

岡本

私は、犬のブリーダー「カーゴイ」と思いました。

野口

私はラーメン屋さんの「綿麵」。評判の店だったんで前から行きたかったけど、店主の顔がコワイという噂があったから最初はメッチャ緊張しました。でも行ってみて、「怒ってるんやなくて、美味しいラーメン作るのに集中してるだけ。笑ったりしゃべったりしながら作ってたら絶対間違えうから。ふだんはオモロイこというおっちゃんやねん」っておっしゃるの聞いて、「そういうことやってみて初めてわかることっていっぱいある。部活って学校内でやるのがほとんどやけど、写真部はエリアを問わないのが基本。校内外問わず、新たな出会いと発見を求めて被写体と心を通わせて記録する。これからもこの基本姿勢は守って、結果として地元貢献できたら言うことない。これからもみんながんばってください。

先生

（第1部まとめ2年 篠原遼太郎）



表紙写真舞台裏

表紙写真の舞台裏を公開！屋上で青空が出るのを待って、レフ板で光をおこし、ストロボでキャッチライトを作っている。これでも結構構手の込んだ撮影をしているのだ。



Tシャツプリント

写真部オリジナルTシャツ。「至誠通神」は生野高校の校訓。真心をもって事にあたれば、その気持ちは神(天)に通ずるという教え。「撮ってよし、撮られてよし、それ見てよし」の三方吉は写真部のスローガン。写真を、撮る人、撮られる人、見る人、すべての人が幸せになって、良い写真になるということ。



写真部メンバー

現在部員はフルメンバーで24名。圧倒的に女子部員が多いのは、生野に限らず、全国的な傾向。

主な実績

- ◎全国高等学校総合文化祭出場 (2012年～2017年)*6年連続
- ◎写真甲子園本戦出場 (2012年、2015年)
- ◎Top Eye 高校生写真サミット出場 (2013年、2015年)
- ◎全国写真展覧会文部科学大臣賞 (2017年)
- その他、各種コンテストで入賞多数

座談会 第2部

生野高校写真部「広報」を斬る！



第1部は、「あなたの相棒」の振り返りでしたが、第2部は、高校生目線で「広報まっばら」に対して忌憚きたんのない意見を出し合おうというものなんです。(つまり、遠慮しないで言いたいことをズバズバ言っちゃおうという奔放なコーナーです。)

失礼の段は多々あるかと存じますが、高校生の偽りないホントの気持ちということはどうぞお許しください。(広報担当の職員も出席される中、第2部がスタート。司会進行は3年生の岩永さんが務めました。)

岩永 じゃあ、順番にあてて行くから、率直に読んでみた感想を聞かせてください。一人目、篠原くん。

篠原 ここに他市の広報紙もあるけど、それらと比べるとちょっと写真の量が少なかな。写真部やから余計そう思うのかもしれないけど、結構控えめな意見ですが、次の岡本さんどうですか？

岡本 ……(隣の廣井と目配せして、ちょっと相談してから)

岡本 全体的に「大人しめ…」だと思います。

岩永 「大人しめ」って具体的にどういうこと？

岡本 はつきりいうと地味(全員笑)。

岩永 じゃあ、どうしたら地味でなくなると思う？

岡本 中を開くと、情報のほとんどが黒とピンクの2色刷で変化がない。インパクトが少ない感じ。

廣井 評判のよかった他市の広報紙は、私たちのような若い世代でも興味を持てるような情報を積極的に取り入れようとしている感じが伝わります。

野口 見出しの使い方とか、メリハリの付け方とかがちょっと中途半端。縦書きが多い

吉田 ちょっと文章も硬い気がする。漢字もちょっと多いし…私漢字嫌いだから(ここで漢字嫌いを暴露。一同爆笑)。字のフォントも、もう少し柔らかいのにしたらどうかなって思う。

岩永 (広報担当の職員に向かって)色々好き放題いってすみませんでした。こいつら勝手なことばかりいいやがって…と内心思っているが、私たちの本音です。少しでも受け止めていただけたら嬉しいです。本日はどうもありがとうございました(一同拍手。司会「あく変な汗かいた」のつぶやきで座談会終了)。

阪倉 のも気になる。今は横書きになれてる人も多いからかな。それとさつきも出たけどピンクっていうか、赤い部分が多いから、逆に目立ってへん。大事なところに赤ペンたくさん使いたしたら、どこが大事なかわからんようになるって、あの感じ。えっと、ほら、これと比べたら(評判の良かった他市の広報紙と並べて)こんなに字の大きさが違う。文字を大きくするんやったら、もっと

野口 表紙の写真って大事だと思うんですけど、その号の目玉っていうか、特集とかあるじゃないですか。それと表紙の写真が、無関係なこ

岩永 じゃ、今度は写真部ならではの視点で、写真の使い方について何か意見ないですか。

吉田 良い写真が掲載されてたら、言葉よりたくさんさんの事を語ってくれると思う。くどくどと説明されるより、よっぽど説得力がある。

廣井 表紙にちっちゃな字でいつも目次みたいなのを書いてるけど、あれいらんと思う。表紙には、良い写真使ってる、今号のテーマがバーンと載ってるだけで十分。「まっばら」の字も控えめでちっちゃい(やはり最後まで控え目がアダになってる感じ…)。

広報担当より 座談会を終えて

部活動を通じて広報紙に対して興味を持っていただき嬉しく思います。編集作業では、文字を減らす・余白を大きくすると見やすくなる反面、少しでも多くの情報を伝えたい思いもあり、そのバランスが難しいと感じています。学生の皆さんにいただいた声を紙面作りに反映し、より良い広報まっばらを目指して、今後は紙面をより見やすく考えていきます。